

0B

②

令和7年度
当初予算案の主要事業

令和7年2月

浜 松 市

目次

(1) 総合計画推進事業	企画課	11
(2) 総合戦略推進事業	企画課	12
(3) 徳川家ゆかりの資料展示収蔵施設整備事業	企画課	13
(4) 遠州灘海浜公園篠原地区道の駅整備事業	企画課	14
(5) (拡充) 大都市制度調査研究事業	企画課	15
(6) (新規) 天竜川・浜名湖地域合併20周年記念事業	企画課	16
(7) (新規) 大阪・関西万博出展事業	企画課	18
(8) 地域日本語教育の体制づくり推進事業	国際課	19
(9) 国際機関への参加と都市間連携事業	国際課	20
(10) (新規) 女性に選ばれるまちプロジェクト事業	UD・男女共同参画課	21
(11) (新規) 光ファイバ未整備地域解消事業	情報システム課	22
(12) 自治会連合会75周年記念事業	市民協働・地域政策課	23
(13) 地域づくり推進事業	市民協働・地域政策課	24
(14) みんなの中山間地域応援事業	市民協働・地域政策課	25
(15) 浜松版M a a S 推進事業	デジタル・スマートシティ推進課	26
(16) (拡充) デジタル変革人材育成確保事業	デジタル・スマートシティ推進課	27
(17) (新規) 健康投資効果分析事業	ウェルネス推進事業本部	28
(18) 防犯灯設置維持管理費助成事業	市民生活課	29
(19) すみれの里づくり事業	天竜区区振興課	30
(20) 森林のまち童話大賞事業	天竜区区振興課	31
(21) 水窪地域ローカルコープ構想推進事業	天竜区区振興課	32
(22) (新規) はままつ文化創造チャレンジ助成事業	創造都市・文化振興課	33
(23) クリエイティブシティブースター事業	創造都市・文化振興課	34
(24) (拡充) 音楽のあふれるまちづくり発信事業	創造都市・文化振興課	35
(25) アクトシティ浜松施設整備事業	創造都市・文化振興課	36
(26) (新規) 東京2025デフリンピック大会ブラジル選手団事前合宿受入事業	スポーツ振興課	37
(27) (新規) サーフィン国際大会誘致事業	スポーツ振興課	38
(28) 江之島ビーチコート整備・運営事業	スポーツ振興課	39

(29) 浜松アリーナリニューアル整備・運営事業	スポーツ振興課	40
(30) 新武道館整備事業	スポーツ振興課	41
(31) 四ツ池公園運動施設改修事業	スポーツ振興課	42
(32) 浜北文化センター大規模改修事業	創造都市・文化振興課	43
(33) 中村家住宅土蔵改修事業	文化財課	44
(34) 二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業	文化財課	45
(35) 西図書館移転事業	中央図書館	46
(36) 南陽図書館大規模改修事業	中央図書館 公共建築課	47
(37) 史跡蜷塚遺跡再整備事業	博物館	48
(38) 銅鐸調査研究事業	博物館	49
(39) 美術館及び秋野不矩美術館展覧会	美術館	50
(40) 定額減税調整給付重点支援給付金支給事業	市民税課	51
(41) 南消防署・浜松第41分団・可美市民サービスセンター複 合施設建設事業	消防総務課 市民生活課	52
(42) 戸籍の振り仮名追加事業	市民生活課	53
(43) (拡充) コミュニティソーシャルワーカー事業	福祉総務課 高齢者福祉課	54
(44) (拡充) 障害者(児)日常生活用具費助成事業	障害保健福祉課	55
(45) 障害者施設整備費助成事業	障害保健福祉課	56
(46) デジタル活用による市民サービス向上事業	障害保健福祉課	57
(47) 敬老祝金支給事業	高齢者福祉課	58
(48) 特別養護老人ホーム改築補助金	高齢者福祉課	59
(49) (拡充) 結婚支援事業	こども若者政策課	60
(50) (新規) 地域子育て相談機関の整備	子育て支援課 幼保運営課	61
(51) (新規) こども家庭ソーシャルワーカー資格取得促進事 業	子育て支援課 児童相談所	62
(52) 中山間地域における訪問支援サービスの拡充	子育て支援課	63
(53) (新規) 児童育成支援拠点事業	子育て支援課	64
(54) (新規) 親子関係形成支援事業	子育て支援課	65
(55) (新規) こどもの権利擁護環境整備事業	子育て支援課	66
(56) (新規) 社会的養護自立支援拠点事業	子育て支援課	67
(57) 学習支援事業の拡充	子育て支援課	68

(58)	(拡充) 児童養護施設入所児童等学校外活動支援事業	児童相談所	69
(59)	(新規) 私立保育所等ICT化推進事業	幼保支援課	70
(60)	(拡充) 乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度)	幼保支援課	71
(61)	(新規) 子育て支援員研修事業	幼保支援課	72
(62)	(新規) 市立幼稚園・保育園における基幹園モデル事業	幼保運営課	73
(63)	(新規) 市立保育園等の主食提供事業	幼保運営課	74
(64)	地域介護・福祉空間整備等施設整備事業	介護保険課 高齢者福祉課	75
(65)	(新規) 浜松循環器疾患地域支援講座事業	健康医療課	76
(66)	(新規) 中山間地域受診機会確保支援事業	健康医療課	77
(67)	浜松・雄踏斎場再整備事業	市民生活課	78
(68)	(拡充) 妊産婦乳幼児健康診査事業	健康増進課	79
(69)	(新規) 5歳児健康診査準備事業	健康増進課	80
(70)	(拡充) はじめてのパパママレッスン	健康増進課	81
(71)	プレコンセプションケア普及啓発事業	健康増進課	82
(72)	(拡充) 産後ケア事業	健康増進課	83
(73)	(拡充) 妊婦支援給付事業	健康増進課	84
(74)	(拡充) HPVワクチンキャッチアップ接種事業	健康増進課	85
(75)	(新規) 帯状疱疹ワクチン定期予防接種事業	健康増進課	86
(76)	西部清掃工場更新事業	廃棄物処理施設課	87
(77)	(新規) はままつ循環経済パートナーズ制度事業	一般廃棄物対策課	88
(78)	地下水有機フッ素化合物関連事業	環境保全課	89
(79)	(新規) 省エネルギー化推進事業	カーボンニュートラル推進事業本部	90
(80)	(新規) 脱炭素経営人材育成事業	カーボンニュートラル推進事業本部	91
(81)	(新規) 文系女子活躍促進事業	産業振興課	92
(82)	(拡充) マッチングアドバイザー派遣等事業	産業振興課	93
(83)	(拡充) UIJターン就職活動応援事業	産業振興課	94
(84)	(新規) 子育て世代活躍企業コンテスト事業	産業振興課	95
(85)	(拡充) 農業経営塾開催事業	農業水産課	96

(86)	(新規) 付加価値向上推進事業	農業水産課	97
(87)	(拡充) 海外販路拡大事業	農業水産課	98
(88)	食と農の地域ブランド推進事業	農業水産課	99
(89)	(新規) ICTを活用した野生動物捕獲支援事業	農業振興課	100
(90)	茶産地としての知名度向上事業	農業振興課	101
(91)	水田病害虫防除対策事業	農業振興課	102
(92)	(新規) 提案型畜産環境・衛生対策支援事業	農業振興課	103
(93)	(新規) 棚田サミット事業	農地整備課	104
(94)	(新規) 農業者団体の体制強化対策事業	農地整備課	105
(95)	天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業	林業振興課	106
(96)	(新規) 森林環境教育推進事業	林業振興課	107
(97)	スマート水産業普及・展開事業	農業水産課	108
(98)	(新規) 浜名湖アサリ総合対策事業	農業水産課	109
(99)	(拡充) 中小企業向け融資支援事業	産業振興課	111
(100)	中心市街地活性化事業一覧	産業振興課	112
(101)	中心市街地活性化基本計画策定事業	産業振興課	114
(102)	中心市街地における屋外喫煙所設置事業	産業振興課	115
(103)	(新規) 海外展開事業化可能性調査費助成事業	産業振興課	116
(104)	(拡充) 中小企業脱炭素経営支援事業	産業振興課	117
(105)	(拡充) 浜松・インド経済交流推進事業	産業振興課	118
(106)	(新規) 浜松地域スタートアップ連携促進事業	スタートアップ推進課	120
(107)	(新規) スタートアップ・エコシステムグローバル化推進事業	スタートアップ推進課	121
(108)	(新規) 企業立地ニーズ調査事業	企業立地推進課	122
(109)	阿蔵山産業用地整備事業	企業立地推進課	123
(110)	弁天島海浜公園海水浴場砂浜整備事業	観光・シティプロモーション課	124
(111)	(拡充) 家康公ゆかりの地浜松推進事業	観光・シティプロモーション課	125
(112)	(新規) 宿泊施設誘致可能性調査事業	観光・シティプロモーション課	126
(113)	(拡充) インバウンド推進事業	観光・シティプロモーション課	127

(114) (新規) 海外向け戦略的広報事業	観光・シティプロモーション課	128
(115) (拡充) グローバル人材活用事業	観光・シティプロモーション課	129
(116) (拡充) シティプロモーション事業	観光・シティプロモーション課	130
(117) (新規) 首都圏魅力発信イベント開催事業	観光・シティプロモーション課	131
(118) 地震対策推進事業	建築行政課	132
(119) 公共建築物長寿命化推進事業	公共建築課 アセットマネジメント推進課	133
(120) 勤労福祉センター大規模改修事業	公共建築課 産業振興課	134
(121) 公共建築物耐震化推進事業	公共建築課	135
(122) 道路・街路・河川事業	道路企画課 道路保全課 河川課	136
(123) 小規模・中規模要望事業	道路企画課	137
(124) 交通事故ワースト1脱出事業	道路企画課	138
(125) (新規) (主) 浜松環状線整備等総合安全対策事業	道路企画課	139
(126) 国直轄道路事業(負担金)	道路企画課	140
(127) 浜松駅周辺自転車等駐車場再整備事業	道路保全課	141
(128) (拡充) 河川愛護支援事業	河川課	142
(129) 芳川公園地下貯留施設整備事業	河川課	143
(130) 雨水流出抑制施設整備事業	河川課	144
(131) 都市計画区域マスタープラン調査検討事業	都市計画課	145
(132) (新規) 都市計画道路見直し計画調査検討事業	都市計画課	146
(133) 都市防災推進事業	都市計画課	147
(134) 盛土規制区域基礎調査等事業	土地政策課	148
(135) (新規) 持続可能な公共交通確立に向けた取組	交通政策課	149
(136) 鉄道駅バリアフリー化設備整備費助成事業	交通政策課	150
(137) 高塚駅北第二公共団地区画整理事業及び関連事業	市街地整備課	151
(138) 浜北中央北地区公共施設整備事業及び組合支援事業	市街地整備課	152
(139) 西鴨江台地地区土地区画整理等調査事業	市街地整備課	153
(140) (新規) 国際園芸博覧会展展事業	緑政課	154

(141) 佐鳴湖公園再整備基本計画策定事業	公園課	155
(142) 遠州灘海浜公園馬込川河口部賑わい創出事業	公園課	156
(143) スケートパーク整備事業	公園課	157
(144) 公園施設遊具緊急修繕事業	公園管理事務所	158
(145) 市営住宅ストック総合改善事業	住宅課	159
(146) (新規) まちなか定住促進・子育て応援環境づくり補助事業	住宅課	160
(147) 中消防署高台出張所建設事業	消防総務課	161
(148) 北消防署引佐出張所・引佐第3分団伊平建設事業	消防総務課	162
(149) (新規) 救急安心電話相談窓口設置運用事業	警防課	163
(150) 消防救急デジタル無線システム再整備事業	情報指令課	164
(151) (新規) 消防団ポータブルトイレ整備事業	消防総務課	165
(152) 水防倉庫改築事業	河川課	166
(153) (新規) 停電対策予防伐採事業	危機管理課	167
(154) 公共安全モバイルシステム整備事業	危機管理課	168
(155) (新規) 学習者用タブレット型端末更新事業	教育施設課	169
(156) (拡充) 放課後児童会民間活力導入	教育総務課	170
(157) (新規) 夏季休業期間における臨時放課後児童会モデル事業	教育総務課	171
(158) (新規) 県立浜松湖北高等学校佐久間分校生徒確保支援事業	教育総務課	172
(159) (拡充) 指導員・支援員の配置	教職員課 指導課 教育支援課 市立高校	173
(160) (拡充) 不登校児支援推進事業	教育支援課	174
(161) 学校施設長寿命化事業	教育施設課	175
(162) 学校改築・大規模改修事業	教育施設課	176
(163) 学校施設バリアフリー化推進事業	教育施設課	177
(164) 小中学校特別教室空調設備整備事業	教育施設課	178
(165) (新規) 学校体育館スポットクーラー整備事業	教育施設課	179
(166) (新規) 市立幼稚園中山間地域満3歳児受入の試行事業	幼保運営課	180

【歳出・目的別(特別会計)】

(167) (新規) 食肉地方卸売市場廃止事業	食肉地方卸売市場	181
(168) 中央卸売市場再整備事業	中央卸売市場	182

【歳出・目的別(企業会計)】

(169) 地域医療連携推進法人の設立	病院管理課	183
(170) 給水収益 (水道料金の改定)	上下水道総務課	184
(171) 水道事業会計負担金 (水道料金の減免)	上下水道総務課	185
(172) 水道管路・施設の耐震化・老朽化対策事業	水道工事課	186
(173) 浸水対策事業	下水道工事課	187

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	37,270	0	0	0	37,270

目的	令和7年4月を始期とする基本計画に基づき、実施計画を策定、実行し、基本構想で定めた1世代先の未来の理想の姿の実現を目指す。								
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年11月議会で議決された総合計画第2期基本計画を令和7年度4月から開始する。 令和5年度に、ボトムアップによる試行的事業や調査を実施可能とする政策トライアル推進事業を創設し、地域課題の解決や事業改善への迅速な対応、職員の積極的なチャレンジを促している。 								
事業内容	<p>1 総合計画の推進 PDCAサイクルにOODAループを補完的に活用し、データ等の根拠に基づく政策立案により総合計画を実行する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">Plan</td> <td>施政方針の公表、実施計画の策定、市政運営の基本方針・予算編成方針の公表</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Do</td> <td>事業実施、政策トライアル推進事業を随時活用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Check</td> <td>前年度評価の公表</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Action</td> <td>サマーレビュー・副市長レビューの開催、財源・人・組織の資源配分</td> </tr> </table> <p>2 政策形成支援 30,522千円 (1) 政策トライアル推進事業 30,000千円 ボトムアップによる試行的事業や調査等を実施。地域の課題解決や事業改善に迅速に対応するとともに、職員の積極的なチャレンジを促す。 (2) 専門家相談 450千円 課題解決やデータ分析、ナッジ理論の活用等、EBPMの推進を図るために、政策立案において専門家への相談を行う。 (3) 先進地視察 72千円 データ活用の推進に向けて、EBPMの先進自治体を視察する。</p> <p>3 総合計画基本計画市民意識調査 5,099千円 基本計画の指標のひとつとして、市民の幸福実感や生活満足度の経年変化を把握するため、総合計画基本計画の体系に基づく市民意識調査を実施する。 (1) 対象 市民5,000人 (2) 設問 幸福実感や生活満足度に関する指標50項目</p>	Plan	施政方針の公表、実施計画の策定、市政運営の基本方針・予算編成方針の公表	Do	事業実施、政策トライアル推進事業を随時活用	Check	前年度評価の公表	Action	サマーレビュー・副市長レビューの開催、財源・人・組織の資源配分
Plan	施政方針の公表、実施計画の策定、市政運営の基本方針・予算編成方針の公表								
Do	事業実施、政策トライアル推進事業を随時活用								
Check	前年度評価の公表								
Action	サマーレビュー・副市長レビューの開催、財源・人・組織の資源配分								

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	2,971	0	0	0	2,971

目的	本市の特色を活かした地方創生の考え方や取組を定めた総合戦略に基づく施策を推進する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市においては、計画期間を令和7年度から5年間とする次期総合戦略を令和7年3月に策定する。 国は、令和6年10月に新しい地方経済・生活環境創生本部を設置し、令和6年12月に基本的な考え方について決定している。
事業内容	<p>地方創生の実現に向け、総合戦略の着実な推進を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> (新規) 人口減少に関するデータ活用事業 2,320千円 人口減少に関する分析にあたり、多岐にわたるデータを継続して効率的に収集更新し、効果的に活用できる体制を整える (1) 人口減少に関するデータの収集・様式の整理 <ul style="list-style-type: none"> 人口減少に関する本市基礎データ(国勢調査、住民基本台帳人口移動報告、人口動態調査等)を収集 収集した基礎データについて、最新の調査年にあわせた様式統一やグラフ等の作成により、翌年度以降も効率的に更新が可能な環境を整備 (2) データ分析に関する研修参加 <ul style="list-style-type: none"> 統計研究研修所等のデータ分析に関する集合研修及びオンライン研修へ参加 総合戦略推進会議 376千円 総合戦略の着実な推進、効果検証に対する妥当性・客観性を担保するため、市内の産学官金労言士等の有識者が参画する会議等を開催する。 浜松学のあり方検討 165千円 若い世代が地域への関心を高め、地域愛を育み、成長後も地域との関わりを継続するため、年2回の検討委員会により浜松学のあり方を検討 地方創生に関する大学連携事業 110千円 <ul style="list-style-type: none"> 年2回程度、市内大学生と地方創生をテーマにした座談会を実施 先進事例の情報収集
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>大学生との座談会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>浜松学のあり方検討委員会</p> </div> </div>

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	6,641	0	0	0	6,641

目的	家康公ゆかりの地としての都市ブランドの向上による地域活性化を図るため、(公財)徳川記念財団所蔵品を中心とした徳川家関係資料の展示収蔵施設の設置を検討する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年9月に開催した有識者等による検討委員会で、収蔵庫及び展示室の必要面積や天守閣の景観の観点から、旧大河ドラマ館等を活用した整備は難しいことが明らかとなった。 検討委員会では、施設の整備にあたって、市民や市議会へ丁寧に説明し、賛同を得た上で事業を進めるよう意見が出された。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 整備候補地の調査 5,425千円 新たな整備候補地を選定した上で、各候補地の造成、インフラ整備等の概算費用を試算 旧大河ドラマ館等の維持管理 719千円 適正な維持管理を行うための機械警備及び電気工作物の法定点検 説明会、ヒアリングなどの実施 334千円 展示収蔵施設の整備・運営に関し、市民や関係者に対する説明やヒアリングを実施 類似事例視察 163千円 特定の法人の所蔵品を中心とした施設や、博物館を核としたまちづくりに関する情報収集



資料展示イメージ



体験展示イメージ

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	30,881	0	0	0	30,881

目的	遠州灘海浜公園篠原地区近接地への道の駅の整備に向けて、基本計画策定及び官民連携手法導入可能性調査を実施する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 篠原地区には県による新野球場の建設が計画されており、令和7年1月に県と市による協議会が設立され、公園区域内外の全体的な利活用などについて協議している。 令和3年度以降、地域や経済界から道の駅設置や周辺地域の開発に向けて要望があり、令和5年度には道の駅及び周辺地域活性化構想を策定した。
事業内容	<p>遠州灘海浜公園篠原地区近接地への道の駅の整備に向けて、基本計画策定及び官民連携手法導入可能性調査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 基本計画の策定・官民連携手法導入可能性調査 30,668千円 <ul style="list-style-type: none"> 実施期間 令和6年10月～令和8年2月 整備候補地の選定、施設計画の作成、概算事業費等の算出 サウンディング型市場調査、リスク分担やVFMの検討、事業手法の検討 など 参考事例視察等 213千円 持続可能な道の駅や周辺エリア活性化の事業手法に関する情報収集

整備候補エリア



事業スケジュール

年度	内容
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画素案作成
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> サウンディング型市場調査 事業手法の検討 施設計画の作成 概算事業費、ライフサイクルコストの算出 事業収支のシミュレーション 事業スケジュールの作成
	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画策定

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	7,411	0	0	131	7,280

※財源(その他) その他収入

目的	都市の活力向上のため、都市間及び産学官の連携が重要なことから、圏域中枢都市として都市間の連携を深め、地域課題の解決及び圏域の更なる発展を目指す。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少をはじめ、地域課題は複雑化・多様化しており、都市機能や行政サービスの維持に向けて、地方公共団体相互の連携・協力や公共私連携の深化とともに、都道府県と市町村の役割などに関する地方制度の見直しの議論が求められている。 ・本市が参画する指定都市市長会「多様な大都市制度実現プロジェクト」では、特別市の法制化を目指しており、本市にふさわしい大都市制度について引き続き連携して研究するとともに、将来市民の理解が得られるよう機運を醸成していく必要がある。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 関係機関への参画等 6,042 千円 都市間連携を深めるために、指定都市市長会や中部圏開発整備地方協議会へ参画する。 2 (新規) 地方行政を考える“みんなのまちづくり”ワークショップ 807 千円 多様な人々の参画によるまちづくりや広域連携の推進を図るとともに、特別市を含む多様な大都市制度の実現に向けた機運を醸成するため、学生を対象としたワークショップを開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象 大学生 40 人程度、遠州地域行政職員 8 人 ・内容 ボードゲームでまちづくりを疑似体験、グループワークなどを実証実験として、大学や遠州地域市町と連携して実施予定 3 静岡県知事・政令市市長会議事業 487 千円 静岡県、静岡市及び本市の共通する行政課題の意見交換を行い、緊密な連携と協調を深めるために、令和 7 年度は本市が開催自治体として実施する。 4 (新規) 国の制度改革に係る庁内提案制度 75 千円 地域課題の解決に必要な制度改革や規制緩和を国に求める内閣府の「地方分権改革における提案募集方式」の活用のために、職員による庁内提案制度を創設する。

ワークショップ実施イメージ



(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	24,366	0	0	0	24,366

目的	合併 20 周年の節目を、市内外の方が各地域の魅力を再認識し、地域に対する愛着や誇りを育み、市民、行政、企業が一体となって地域の未来を考える機会とし、今後の持続可能なまちづくりを目指す。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 17 年 7 月 1 日に 12 市町村が合併し、令和 7 年度に 20 周年という節目を迎える。 ・平成 27 年の合併 10 周年では、記念式典で 10 年を振り返るパネルを展示した後、各区役所等において巡回展示を実施した。
事業内容	<p>1 天竜川・浜名湖地域 12 市町村合併 20 周年記念式典 3,436 千円</p> <p>(1) 日時 令和 7 年 7 月 1 日(火)</p> <p>(2) 会場 サーラ音楽ホール</p> <p>2 メインイベント 20,000 千円</p> <p>市内各地域の様々な魅力を一堂に集めて体感できるイベントを開催</p> <p>(1) 開催日 11 月~12 月の 2 日間</p> <p>(2) 会場 フラワーパーク、渚園などの屋外施設 (検討中)</p> <p>(3) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産物の飲食物販ブース、地域企業出展ブースなど ・地域産業体験 ・地域の伝統芸能やまつりの展示、実演 など <p>3 記念事業 930 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡文化芸術大学との協働によりロゴマークを作成 ・ステッカーを作成し、庁内のグッズ等に貼付
	
	12 市町村による合併協定調印式

天竜川・浜名湖地域合併 20 周年記念事業費 69,438 千円

1 記念式典 3,436 千円

2 メインイベント 20,000 千円

3 記念事業

(1) 地域の歴史と文化の継承

No.	款	事業名	事業費 (千円)	所管課
1	教育費	記念給食提供 (学校給食費管理事業、学校給食センター事業 学校給食食材購入事業)	既存予算 (4,260,546)	健康安全課
2	農林水産業費	伝えようふるさとの味 (食と農の地域ブランド推進事業)	既存予算 (10,700)	農業水産課

(2) 地域間交流の促進

No.	款	事業名	事業費 (千円)	所管課
1	商工費	エヴァンゲリオンで浜松を周遊 (アニメコンテンツを活用した誘客促進事業)	10,000	観光・シティプロモーション課
2	総務費	地域音楽交流会開催 (音楽のあふれるまちづくり発信事業)	5,000	創造都市・文化振興課
3		出張コンサート開催 (音楽のあふれるまちづくり発信事業)	2,100	

(3) 産業振興と地域経済の活性化

No.	款	事業名	事業費 (千円)	所管課
1	商工費	浜松オートレース場冠レース開催 (産業経済対策運営経費)	0	産業振興課
2		バイクのふるさと浜松スタンプラリー (地域産業振興支援事業)	5,000	
3	農林水産業費	市内スーパーとのコラボ (食と農の地域ブランド推進事業)	1,650	農業水産課
4		市内ガーベラ生産者団体とのコラボ (農産物生産振興事業)	100	農業振興課
5		林業振興イベント (FSC 認証材利用拡大推進事業)	既存予算 (1,345)	林業振興課
6		オンラインキッチン (食と農の地域ブランド推進事業)	既存予算 (2,200)	農業水産課
7		浜松パワーフードパーク (食と農の地域ブランド推進事業)	既存予算 (10,700)	

(4) 市内外に向けた魅力の発信

No.	款	事業名	事業費 (千円)	所管課
1	総務費	フォトコンテスト (市政広報事業)	3,722	広聴広報課
2		ロゴマーク及びステッカー制作	930	企画課
3	商工費	囲碁タイトル戦 (天元戦) 誘致 (家康公ゆかりの地浜松推進事業)	2,500	観光・シティプロモーション課
4	総務費	広報はままつ連載 (市政広報事業)	既存予算 (101,534)	広聴広報課
5		バックパネル制作 (市政広報事業)		
6		SNS を活用した広報 (市政広報事業)	既存予算 (0)	
7		インターネット広告 (市政広報事業)	既存予算 (3,000)	

(5) 区地域力向上事業 15,000 千円 (5,000 千円×3 区)

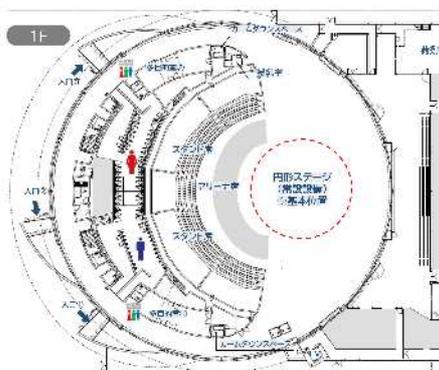
各区が区独自の記念事業を地域力向上事業の予算内 (1 区あたり上限 5,000 千円) で実施

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	35,389	0	0	0	35,389

目的	20年ぶりに日本で開催される国際博覧会である2025年大阪・関西万博において、本市の魅力を世界に発信し、本市の認知度や都市ブランドの向上を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、令和7年4月13日から10月13日まで開催される。 来場者総数約2,820万人（うち海外来場者約350万人）が想定されており、本市の魅力を世界に発信する絶好の機会である。
事業内容	<p>大阪・関西万博の会場内のホールにて、本市主催のイベントを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 開催日 令和7年9月26日（金） 会場 EXPOホール「シャインハット」（約1,900席） 展示内容 <ol style="list-style-type: none"> 「音楽の都 浜松」コンサート 30,010千円 浜松が誇る楽器メーカー3社（ヤマハ、カワイ、ローランド）と協力し、浜松だからこそできるコンサートや動画上映のイベントを実施 魅力発信事業 1,500千円 地場製品の販売ブース、パネル展示、観光や産業に関するパンフレットの配架等 その他運営経費 3,879千円 旅費、ホール借上料など

EXPOホール「シャインハット」



(提供: 2025年日本国際博覧会協会)

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	68,738	45,825	0	0	22,913

※外国人学習支援センター運営事業の一部

目的	地域日本語教育の総合的な体制づくりをステークホルダーとの連携・協働により推進することで、外国人市民の活躍促進を図る。																
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市の外国人市民数は3万人を超え、定住化が顕著であり、地域でともに暮らす上での共通言語となる日本語の確実な習得は喫緊の課題である。 令和2年2月に「地域日本語教育推進方針」を策定したほか、第3次多文化共生都市ビジョンにおいて「総合的・体系的な日本語教育の推進」を重点取組の一つに位置付けている。 																
事業内容	<p>生活者として必要な日本語教育機会の提供推進を図るため、全国で初めて試行開始した生活 Can Do を用いた浜松版生活日本語カリキュラムに基づく日本語学習プログラムを年間2期にわたり本格実施する。</p> <p>1 対象 主に新規来日者 2 場所 外国人学習支援センター</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和6年度</th> <th colspan="2">令和7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">浜松版生活日本語コース</td> <td>1期 (4月~3月) 延 3,000人 (20人×150回)</td> <td colspan="2">1期 (4月~3月) 延 3,000人 (20人×150回)</td> </tr> <tr> <td>2期前期 (10月~3月) 延 1,500人 (20人×75回)</td> <td>2期後期 (4月~9月) 延 1,500人 (20人×75回)</td> <td>2期前期 (10月~3月) 延 1,500人 (20人×75回)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">その他</td> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> ゼロレベルコース シーン別コース 子育てのための日本語コース 読み書きクラス等の既存事業で対応 </td> </tr> </tbody> </table>		令和6年度		令和7年度		浜松版生活日本語コース	1期 (4月~3月) 延 3,000人 (20人×150回)	1期 (4月~3月) 延 3,000人 (20人×150回)		2期前期 (10月~3月) 延 1,500人 (20人×75回)	2期後期 (4月~9月) 延 1,500人 (20人×75回)	2期前期 (10月~3月) 延 1,500人 (20人×75回)	その他	<ul style="list-style-type: none"> ゼロレベルコース シーン別コース 子育てのための日本語コース 読み書きクラス等の既存事業で対応		
令和6年度		令和7年度															
浜松版生活日本語コース	1期 (4月~3月) 延 3,000人 (20人×150回)	1期 (4月~3月) 延 3,000人 (20人×150回)															
	2期前期 (10月~3月) 延 1,500人 (20人×75回)	2期後期 (4月~9月) 延 1,500人 (20人×75回)	2期前期 (10月~3月) 延 1,500人 (20人×75回)														
その他	<ul style="list-style-type: none"> ゼロレベルコース シーン別コース 子育てのための日本語コース 読み書きクラス等の既存事業で対応																



講座の様子



開講式

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	23,179	0	0	1,108	22,071

※財源(その他) 其他収入

目的	都市・自治体連合(UCLG)及びインターカルチュラル・シティ(ICC)ネットワークへの参加を通じて、海外諸都市との都市間交流及び連携強化を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市の国際施策展開の指針である浜松市国際戦略プランの新たな計画期間が令和7年4月から開始し、国際的なネットワークを積極的に活用することとしている。 海外からの人材獲得や活力の取り込みには、本市の強みや特長を生かした海外諸都市との互恵的協力関係の構築が必要であり、令和6年10月にフィリピン・ダバオ市と都市間連携に関する覚書を締結した。
事業内容	<p>1 (臨時) フィリピン・ダバオ市との交流連携事業 3,257千円 覚書を締結したフィリピン・ダバオ市と都市間交流連携を進めるための外国人材の受入れ促進や互恵的協力関係の構築を目的とした、相互交流を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> カダヤワンフェスティバルでのシティプロモーション 時期: 令和7年8月 会場: ダバオ市内 内容: PRブース出展、関係機関訪問 <p>2 (臨時) UCLG ASPAC と連携した都市間連携セミナー開催事業 2,216千円 国際機関や海外都市との連携強化や海外活力の取り込みを図るため、UCLG ASPAC と連携したセミナーを開催する。</p> <p>(1) 時期 令和7年10月 (2) 登壇者 UCLG ASPAC 事務局長、浜松市長等</p> <p>3 (臨時) 日伯外交関係樹立130周年記念事業 in Hamamatsu 699千円 国内で最も多くのブラジル人が居住する自治体として、多文化共生都市・浜松の都市ブランドを国内外に向けて発信するとともに、市民同士の交流・相互理解の促進を図るため記念事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 イペーの木(ブラジルの国花)植樹セレモニー



フィリピン・ダバオ市との覚書締結式



日本ブラジル友好交流年(外交関係樹立130周年) ロゴマーク

(新規) 女性に選ばれるまちプロジェクト事業

市民部UD・男女共同参画課
電話: 457-2561

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・暮らし	16,438	7,269	0	1,694	7,475

※財源(その他) 一般寄附金
※男女共同参画推進事業の一部

目的	女性の心情に向き合う政策を推進し、「女性に選ばれるまち」を目指すことにより、女性の転出超過及び人口減少の抑制を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市においては平成 25 年から令和 4 年の間で 15~24 歳の若い女性の転出超過が 3,563 人であり、20~24 歳で転入超過となっている男性に対して、人口減少の大きな要因の一つとなっている。 本市は総人口における女性比率が政令市で下から 3 番目に低く、特に年齢階層別では 15~29 歳の女性比率が政令市で最も低い 47.5%となっている。
事業内容	<p>1 (新規) 女性が安心して活躍できる環境づくり事業費補助事業 8,319 千円</p> <p>(1) 補助対象 市内企業、事業者等</p> <p>(2) 対象経費 女性特有の健康課題を解決する製品の購入や理解促進のための研修費用等</p> <p>(3) 補助率 1/2、上限 20 万円 (1 社あたり)</p> <p>(4) 件数 40 社程度</p> <p>2 (新規) 生理用ナプキン IoT ディスペンサー設置事業 5,384 千円</p> <p>(1) 設置場所 市内公共施設の女性用トイレ等</p> <p>(2) その他 使用する生理用ナプキンは使用期限が近くなった防災備蓄品を活用及びクラウドファンディングで寄附を募って購入</p> <p>3 (新規) 女性に向けた一元的な支援情報発信プラットフォーム構築 1,661 千円</p> <p>女性に関する支援や制度を集約したウェブサイト構築</p> <p>4 (新規) 企業向け女性活躍推進セミナー事業 1,074 千円</p> <p>性差が生じない公平・公正な機会が提供される職場環境づくりに対する意識の醸成を目的としたセミナーを開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象 市内企業の経営者、管理職、管理職候補の女性従業員等 50 人程度



女性に
選ばれるまち



若い女性の転出超過抑制・地方創生へ

(新規) 光ファイバ未整備地域解消事業	デジタル・スマートシティ推進部情報システム課 電話: 457-2721
----------------------------	--

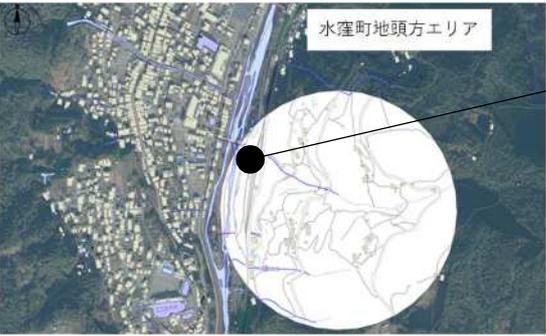
(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	5,800	0	5,800	0	0

※社会情報基盤整備充実事業の一部

目的	光ファイバの伝送路等の情報通信基盤を整備する民間事業者を支援し、デジタルデバイドの解消を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和2～3年度に、中山間地域の光ファイバの整備を行ったが、地理的な条件や採算性の問題から、一部が整備できていない。 天竜区水窪町地頭方について、未整備の要因となっていた技術的な問題が解消された。
事業内容	<p>民間事業者が、高度無線環境整備推進事業（総務省）を活用して実施する中山間地域の光ブロードバンド方式（FTTH）による基盤整備の取り組みを支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 対象地域 水窪町地頭方エリア 整備費用 市負担分：計5,800千円 <ul style="list-style-type: none"> 整備費 11,200千円（国8,400千円、市2,800千円） 維持費 4,600千円（事業者1,600千円、市3,000千円）

<対象地域・実施スケジュール>



水窪駅

※未整備地域は JR 飯田線東側の一部地域（地図中白抜で表示）



(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	725	0	0	0	725

※コミュニティ振興事業の一部、行政連絡調整事業の一部の合計

目的	自治会活動に顕著な功績を収め、市勢の進展に貢献した者に感謝状を贈呈するとともに自治会長に対する研修を実施する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松市自治会連合会は、毎年「自治会長のつどい」を開催している。加えて5年ごとに周年記念事業を開催している。 ・ 市は、周年記念事業に合わせて自治会功労者への感謝状贈呈と全自治会長を対象とした研修を行っている。
事業内容	<p>1 自治会功労者感謝状贈呈 225 千円 自治会活動に顕著な功績を収め、市勢の進展に貢献した者へ感謝状の贈呈と記念品の授与を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表彰要件 自治会連合会の周年記念式典が開催される年度に自治会長として9年以上その職にあって現職の者 ・ 対象人数 自治会長 737 人のうち 45 人（見込み） <p>2 研修 500 千円 地域コミュニティの中核となる自治会に対し、持続可能な運営を目指し、今後の運営におけるヒントを得てもらう機会とするため、全自治会長を対象とした研修会を開催する。</p> <p>〈参考〉 市自治会連合会 75 周年記念「自治会長のつどい」の開催概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程 令和 8 年 2 月 4 日（水）14：30～18：00 ・ 会場 グランドホテル浜松 2 階「鳳」 ・ 主催 浜松市自治会連合会

70 周年記念事業の様子



感謝状の贈呈



研修

地域づくり推進事業

市民部市民協働・地域政策課

電話: 457-2094

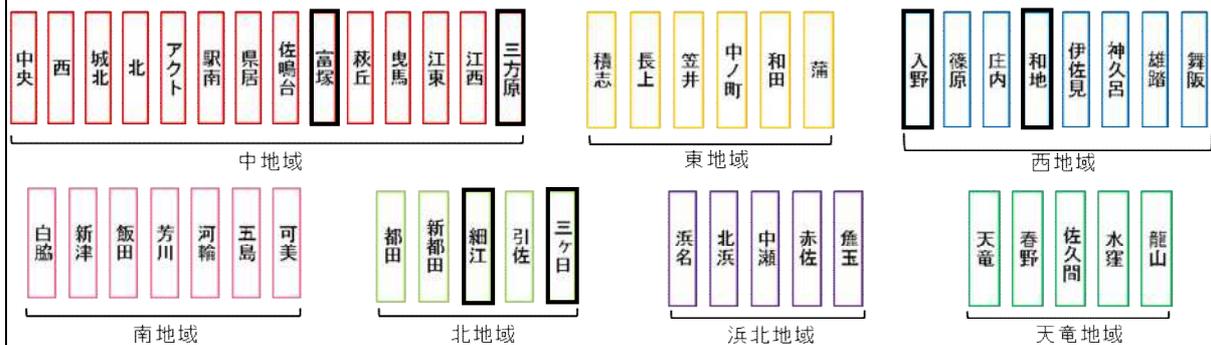
(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	2,356	0	0	0	2,356

目的	協働センター等において、地区コミュニティ協議会を始めとする地域団体への伴走型支援を充実することで、地域コミュニティの振興を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 地域の多様な主体が参画し地域課題や地域振興について話し合う組織として、地域の任意で設立し、市が認定する地区コミュニティ協議会の制度を創設した。 地域団体が自立し、持続可能な活動を行うため、協働センター等のコミュニティ担当職員が団体の活動資金調達などについて伴走型で支援する必要がある。
事業内容	<p>1 アドバイザー派遣事業 1,400 千円 地域づくりアドバイザー等、地域づくりに関する専門知識を有する人材を招き、地域づくりや地域組織の立ち上げに関するワークショップを開催する。 ・対象 地区コミュニティ協議会の設立を検討している地区、地域づくりのあり方や仕組み等を検討したい地区 等</p> <p>2 (臨時) 資金調達研修 345 千円 資金調達の手法を学ぶ研修を実施し、地区コミュニティ協議会など、地域で活動する団体の財源基盤強化の相談役を育成する。 ・対象 コミュニティ担当職員 各区役所や協働センター等に勤務する職員</p> <p>3 その他 611 千円 コミュニティ担当職員の地域づくり先進都市への短期派遣研修や区協議会委員研修 など</p>

地区コミュニティ協議会設置対象地区 (50 地区)

※設置は任意 (地域の意向による)。黒い太枠は地区コミュニティ協議会設置済地区



みんなの中山間地域応援事業

市民部市民協働・地域政策課

電話:922-0200

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	20,000	154	0	0	19,846

目的	中山間地域が有する様々な課題の解決に資するアイデアや事業提案を募集し、効果が見込まれる事業を支援するとともに、新たな地域課題に迅速に対応することで、中山間地域の振興を図る。
背景	過疎化・高齢化など、多くの課題を有する中山間地域において、複雑・多様化する市民ニーズや新たな地域課題に迅速に対応し、中山間地域の活性化を図る必要がある。
事業内容	<p>1 中山間地域まちづくりトライアル事業 10,000千円 住民団体や事業者等から中山間地域の課題解決に向けたアイデアや事業提案を募集し、選考のうえ、採用された事業を実施する提案者に対して、事業費200万円(上限)を補助する。</p> <p>2 中山間地域活性化事業 7,677千円 中山間地域における新たな地域課題に迅速に対応するために、課題研究・調査等を実施する。</p> <p>3 中山間地域振興アドバイザー 1,960千円 中山間地域が有する様々な課題への対応策や地域振興に関する施策について、専門的な知見と豊かな経験を活かして指導・助言・提言・情報提供を行う。</p> <p>4 (新規)中山間地域の愛称・アイデア募集事業 247千円 本市の「中山間地域」を表現する新たな愛称と中山間地域の振興につながるアイデアを募集し、審査により優秀作品には賞品等を授与する。</p> <p>5 (新規)中山間地域・ミライカレッジ事業 116千円 中山間地域で活動する若者、学生等と行政が中山間地域の未来についての意見交換、議論等を行い、中山間地域振興の施策につなげていく。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>中山間地域の愛称・アイデア募集</p> <p>愛称、アイデアを募集</p> <p>市役所</p> <p>親しみをもってもらえる愛称の設定、課題解決に向けたアイデアをヒントにした事業の立案につなげる。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>中山間地域・ミライカレッジ</p> <p>中山間地域で活動する若者・学生と中山間地域の未来についての意見交換等を行い、施策の立案につなげていく。</p> </div> </div>	

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	5,430	0	0	0	5,430

目的	人口減少・少子高齢化で限られた資源（ヒト・モノ・コト）をモビリティで繋ぎ、持続可能な都市を目指すとともに、ヒトの移動にとどまらない価値を創出し、浜松での暮らしをより豊かにし、来訪者にとっての魅力も高める。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松版 MaaS 構想推進のための官民連携組織「モビリティサービス推進コンソーシアム」を令和2年4月に設立し、令和6年12月末現在で137団体が参加している。 ・天竜川水系が経済産業省からドローン航路の先行地域に設定されたことを契機に令和5年12月にドローン部会を設置した。
事業内容	<p>1 モビリティサービス推進コンソーシアムの運営 2,786千円 モビリティサービス推進コンソーシアムにおいて、最新の動向把握や会員による新たなサービス創出に資するセミナーやワークショップ等を実施。 令和7年度は「ドローン」、「自動運転」を主テーマに行う。</p> <p>2（新規）ドローン航路活用及びコンソーシアム活動等のPR 2,644千円 天竜川水系のドローン航路やコンソーシアムの取組に関する情報発信を強化し、ドローン航路のユースケース創出及びコンソーシアム活動の活性化を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン関連催事（Japan Drone 2025）への出展 ・パンフレット及びポスターの制作 ・コンソーシアムウェブページの作成

＜天竜川水系におけるドローン実証実験の様子（令和6年4月）＞



ドローン（固定翼機）空撮による河川点検

(拡充) デジタル変革人材育成確保事業	デジタル・スマートシティ推進課 電話:457-2454
----------------------------	--------------------------------

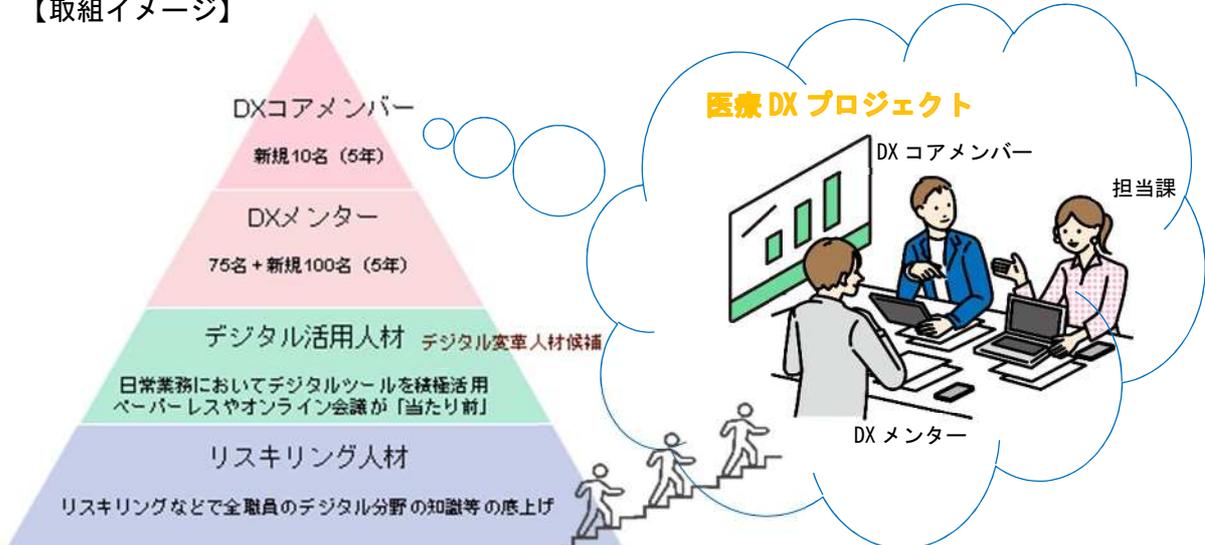
(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	10,480	0	0	0	10,480

※デジタル・ガバメント推進事業の一部

目的	庁内の DX をけん引するデジタル変革人材の育成により、職員の意識や業務の改革を推進し、市民サービスの向上や業務効率化を目指す。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年 12 月、総務省が「人材育成・確保基本方針策定指針」を策定し、1 つの柱に「デジタル人材の育成・確保」が明記された。 令和 7 年度からの浜松市 DX 推進計画では、これまで育成した DX メンター 81 人（実績（計画 75 人））に加え、DX コアメンバーを 10 人、DX メンターを 100 人の育成を目標としている。
事業内容	<p>1 (新規) DX コアメンバーの育成研修 2,310 千円 先進的自治体での実践的研修と DX に関する知識習得プログラムを通じて、部局の垣根を越えた DX プロジェクト（例：医療 DX、子育て DX など）を推進できる人材の育成（R7:5 人、計画：10 人）</p> <p>2 DX メンターの育成研修 5,731 千円 データ利活用等のスキル・資格を取得し、各部局において DX を推進する人材の育成（R7:20 人、計画:100 人）</p> <p>3 DX 人材候補の発掘 495 千円 データ利活用アイデアソンの実施（庁内公募 20 人程度）</p> <p>4 その他 1,944 千円</p>

【取組イメージ】



<浜松市 DX 推進計画 2.0 抜粋>

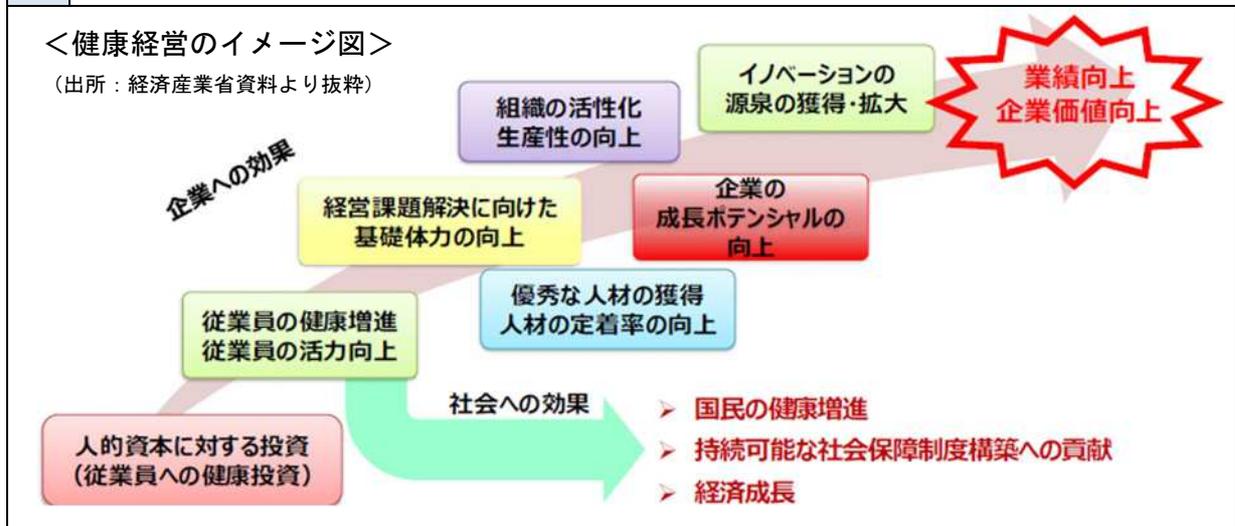
(新規) 健康投資効果分析事業	ウエルネス推進事業本部 電話: 457-2129
------------------------	-----------------------------

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	健康・福祉	3,500	0	0	0	3,500

※浜松ウエルネスプロジェクト事業の一部

目的	市内企業の健康経営の取組効果を分析するとともに、広く周知することにより、地域企業の健康経営の促進や、健康経営取組企業の質の向上を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業 22,655 社のうち健康経営優良法人（中小規模法人部門）の認定企業は 169 社にとどまり、また、近年は新規認定数が鈍化傾向である。 ・令和 5 年度に実施した中小企業を対象とした健康経営実態調査において、具体的な取組内容やメリットについて知りたいという意見が多く寄せられた。
事業内容	<p>健康経営優良法人の認定を受けている市内企業における健康経営の取組状況と、企業が保有する健診や経営状況等のデータを委託事業により調査・分析する。</p> <p>1 状況調査 1,117 千円</p> <p>(1) 調査票による市内企業の全体調査 市内の健康経営優良法人認定取得企業を対象に健康経営の取組内容や効果、健康経営取組前後の経営状況について調査を実施する。</p> <p>(2) ヒアリングによる個社ごとの調査 調査票回答企業のうち 3~5 社を対象に、個別のヒアリング等を実施する。</p> <p>2 効果分析 2,383 千円</p> <p>(1) 傾向分析 健康経営優良法人認定取得企業における経営状況や取組内容・効果等の傾向を分析する。</p> <p>(2) 投資効果分析 健康経営に取り組むことによる個社ごとの健康投資効果を分析する。</p>



防犯灯設置維持管理費助成事業

市民部市民生活課
電話:457-2231

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	156,363	0	0	0	156,363

※関連課 中央区区振興課 (電話:457-2210)、浜名区区振興課 (電話:585-1141)、天竜区区振興課 (電話:922-0011)

目的	自治会が管理する防犯灯の設置・維持・管理に対して助成することにより、夜間における犯罪の防止及び交通の安全を図る。
背景	昭和33年「町を住みよくする会」が発足し、防犯灯設置事業を開始した。
事業内容	<p>独立式防犯灯の補助上限を見直し、令和7年度から改定する。</p> <p>1 設置費 補助対象 共架式・独立式防犯灯の設置費用 補助上限 共架式:22.4千円/灯 独立式:76千円/灯(改正前補助上限:44千円/灯) ※独立式防犯灯の標準仕様を定め、実態に即した額を設定 設置予定 共架式:579灯、独立式:79灯 ※各自治会調査による必要灯数を計上</p> <p>2 維持費 補助対象 防犯灯の電気料全額 補助額 電力会社が定める1灯当たりの電気料単価×防犯灯数</p> <p>3 管理費 補助対象 防犯灯の補修費 ランプ又は自動点滅器の交換、独立式防犯灯の柱の交換等 補助上限 22.4千円/灯</p>

<防犯灯(共架式・独立式)の設置状況等>

区分	中央区				浜名区		天竜区	合計	
	中	東	西	南	北	浜北			
R3決算	灯数(灯)	149	140	121	87	215	185	45	942
	決算(千円)	3,658	3,474	3,043	2,068	5,176	4,253	1,136	22,808
R4決算	灯数(灯)	131	98	91	62	152	188	74	796
	決算(千円)	3,145	2,337	2,268	1,391	3,706	4,275	1,850	18,972
R5決算	灯数(灯)	214	106	112	36	70	198	50	786
	決算(千円)	4,886	2,512	2,712	913	1,757	4,605	1,369	18,754
R6当初	灯数(灯)	268	145	90	36	72	187	46	844
	予算(千円)	6,867	3,767	2,232	828	1,764	4,340	1,203	21,001
R7当初	灯数(灯)	208	143	90	23	45	127	22	658
	予算(千円)	5,571	4,597	2,552	569	1,544	3,220	922	18,975
累計	灯数(灯)	21,495	11,865	11,846	9,526	7,887	7,800	6,300	76,719
	新行政区 合計灯数	54,732				15,687		6,300	76,719

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	5,457	2,528	0	1,000	1,929

※財源(その他)その他収入

目的	「すみれの里・春野」の魅力発信とともに、名誉市民である白井鐵造氏の功績を通して、未来を担う子供の豊かな人間性と多様な個性を育成する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、旧春野町時代から続く白井鐵造氏の顕彰事業であり、平成26年度から続く浜松市と宝塚市との音楽交流が契機となっている。 ・白井鐵造氏は、天竜区春野町(旧周智郡犬居村)の出身で、宝塚レビューを形成した第一人者であり、令和7年度に生誕125周年を迎える。
事業内容	<p>白井鐵造氏の生誕125周年を記念してミュージカルを開催する。</p> <p>1 ミュージカル公演 5,056千円</p> <p>(1) 演目 「白井鐵造物語～犬居の風～」</p> <p>(2) 委託先 「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会</p> <p>(3) 公演内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:令和8年1月(予定) ・場所:アクトシティ浜松大ホール(予定) ・入場料:1人あたり1,000円(予定) <p>2 負担金事業 401千円</p> <p>(1) 実施主体 浜松市・春野ふるさと力向上委員会(負担金交付先)</p> <p>(2) 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春野中学校宝塚歌劇団交流事業 ・シンボル花壇管理 ・宝塚歌劇団関係者との連絡調整 等

「白井鐵造物語～犬居の風～」初演の様子(令和6年9月22日春野文化センターにて)



(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	8,815	4,407	0	1,354	3,054

※財源（その他）その他収入

目的	自然豊かな浜松市のPRと未来を担う子ども達へ森林の大切さを発信する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、旧天竜市において平成13年度から実施している。 ・3年1周期（第6回のみ4年1周期）として過去7回事業を実施しており、現在第8回事業を実施している。（令和5年度～7年度）
事業内容	<p>令和6年度に募集・審査した童話作品の表彰式を開催するとともに、大賞作品のミュージカルを開催する。</p> <p>1 表彰式開催 3,664千円 (1) 賞及び賞品 大賞（1編：50万円、賞状、記念品） 審査員賞（5編：10万円、賞状、記念品） 佳作（数編：賞状、記念品） (2) 結果発表 令和7年2月14日 (3) 開催日 令和7年10月（予定）※ミュージカル公演日と同日</p> <p>2 ミュージカル公演 5,151千円 (1) 演目 大賞作品 (2) 委託先 「龍水の都」文化体験プログラム実行委員会 (3) 公演内容 ・開催日：令和7年10月（予定） ・場所：アクトシティ浜松大ホール（予定） ・入場料：1人あたり1,000円（予定）</p>
	<p><スケジュール（3年1周期）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目（令和5年度） 作品募集の準備を実施（ポスター作成・発送） ・2年目（令和6年度） 作品募集・審査 ・3年目（令和7年度） 表彰式・ミュージカル公演・大賞本の出版 <p><前回実績（第7回）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募数：448作品 ・書籍発行部数：6,000冊 ・入場観客数：1,200人程度



水窪地域ローカルコープ構想推進事業

天竜区振興課
電話:922-0011

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	33,114	9,900	0	0	23,214

※ローカルコープ構想推進事業

目的	水窪地域における人口減少に対応するため、住民同士が助け合い生活を支えていく共助の仕組みを活用し、持続可能な地域を目指す。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、令和4年度にローカルコープ構想を水窪地域にて導入することを決定し、令和5年度には、水窪地域住民から水窪地域の持続可能性を求める「自分ごと化会議からの提案書」が提出された。 令和6年度は、上記提案書を踏まえ「天竜区水窪町における持続可能性向上のための中期実施計画（水窪ランドデザイン）」の策定を進めている。
事業内容	<p>水窪地域住民が主体となった持続可能性なまちづくりのランドデザインを策定し、法人の立ち上げや組織の構築、活動拠点の整備、事業領域の拡大等の検討を行う。</p> <p>1 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ローカルコープ水窪隊員報償費 (2) 空き家を活用した関係人口創出業務 <ul style="list-style-type: none"> ローカルコープ活動拠点の整備（候補施設の絞り込みや地元説明） 空き家の有効活用方法の検討、関係人口の滞在拠点の整備 (3) 森林資源活用施策検討業務 <ul style="list-style-type: none"> 森林資源の活用に関する専門家調査や事業可能性の検討 (4) ランドデザイン策定業務 <ul style="list-style-type: none"> 地域内外の協力者・協力企業との関係構築 ランドデザインの策定 水窪地域住民とのワークショップや説明会の開催 <p>2 今後の主な事業スケジュール</p> <p>令和7年度：ランドデザイン策定、法人立ち上げ 令和8・9年度：事業の実証実験を実施し、事業モデルを確立 令和10・11年度：収益を増加し、事業を安定化</p>
<p><ローカルコープ構想></p> <p>自治体や企業と協働しながら、住民自身が参画・意思決定・労働し、自らが地域経営を担い、自らの地域の豊かさと持続性をデザインするもの。（先行事例：尾鷲市、奈良市）</p>	
<p><概念図></p> <pre> graph LR A[地域住民] -- "地域に必要なサービス提供" --> B[Local Coop (現地法人)] B -- "住民が主体となって法人に参画・意思決定・地域経営" --> A B -- "協働・連携" --> C[自治体] B -- "協働・資金調達" --> D[企業] </pre>	

(新規) はままつ文化創造チャレンジ助成事業

市民部創造都市・文化振興課
電話: 457-2417

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	13,000	0	0	0	13,000

目的	音楽・アートをはじめとした文化芸術振興の活動費を補助することで、文化芸術に携わる市民などの創造的活動を支援し、「未来へかがやく創造都市・浜松」を実現する。	
背景	<ul style="list-style-type: none"> 多様な創造的な活動に対して、市創造都市推進事業補助金等を通じ、平成24年度から令和5年度までの12年間で累計293件、216,050千円を支援してきた。 ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野加盟後10年が経過し、創造的な活動全般から、専門的な伴走支援が可能な文化芸術分野への転換が求められている。 	
事業内容	市創造都市推進事業補助金を文化芸術活動を支援する補助制度に見直す。	
	見直し前	見直し後
名称	市創造都市推進事業補助金	はままつ文化創造チャレンジ事業費補助金
支援内容	市民活動団体等が行う幅広い創造事業	文化芸術振興に資する事業
補助対象	市民活動団体等、アーティスト等、企業	法人(企業除く)、市民団体、個人等 ※大型事業は企業も対象
補助上限額	市民活動団体等 100万円 アーティスト等 50万円 企業 100万円	100万円 ※大型事業は300万円
補助率	市民活動団体等 10/10 アーティスト等 10/10 企業 1/2 ※継続について規定なし	1年目 10/10 2年目 2/3 3年目 1/2 大型事業 1/2



文化芸術振興に資する事業を支援

クリエイティブシティブースター事業

市民部創造都市・文化振興課
電話:457-2417

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	26,808	13,404	0	0	13,404

目的	本市固有の文化や資源を活かした創造的な活動が活発に行われ、その活動が新しい価値や文化、産業の創出につながり、市民の暮らしの質や豊かさを高めていく「創造都市・浜松」の発展を目指す。
背景	令和4年度から、芸術家、技術者、企業等様々な主体（企業、NPO、大学等）を講師に迎えたワークショップを開催し、参加する市民に創造的な活動を生み出す機会を提供している。
事業内容	<p>地域のクリエイティブ人材と、国内外から招聘したクリエイティブ人材とのミートアップ、共同プロジェクト、ワークショップ等を行うクリエイティブイベント『(仮称)Hamamatsu Creative Weekend』を開催する。</p> <p>会場 アクトシティ浜松展示イベントホール 日程 令和7年11月29日、30日（2日間） 主催 浜松市音楽創造都市推進会議 内容 ・国内外からクリエイティブ人材を招聘し、市民の創造性を刺激するステージイベントや実践を伴うワークショップを開催 ・これまでのワークショップ成果や共同プロジェクト作品の展示 ・オンラインコンテンツ及びWebアーカイブによる取組の発信</p>

『(仮称) Hamamatsu Creative Weekend』イメージ



ステージパフォーマンス



楽器を活用したワークショップ

(拡充) 音楽のあふれるまちづくり発信事業

市民部創造都市・文化振興課
電話: 457-2417

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	15,356	3,628	0	1,125	10,603

※財源(その他) その他収入

目的	市民が気軽に音楽や楽器に触れる機会を創出し、音楽へ関心を持つきっかけをすることにより音楽人材の育成を図る。		
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層を中心に軽音楽を好む傾向が強く、市内高校においても軽音楽の活動が盛んである。 ・市内小学校における音楽部活動が減少しており、子供たちが音楽に親しむ機会が少なくなっている。 		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域音楽交流会等開催事業 ※再掲 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域音楽交流会開催事業 5,000 千円 (2) 出張コンサート開催事業 2,100 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・内容 合併 20 周年の節目に、地域の拠点施設を活用した交流会、地域のイベントへのアウトリーチ活動を実施 2 (新規) HAMAMATSU JUNIOR CHORUS FESTIVAL 開催事業 3,968 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・内容 市内外児童合唱団・合唱部による交流コンサートを開催 ・参加団体 児童合唱団・合唱部等 市内 8 団体程度、市外・県外 3 団体程度 3 中高生を対象とした軽音楽祭開催事業(負担金) 1,788 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・内容 市内の中高生を対象とした軽音楽祭を開催 4 (新規) ジェイミーのコンサート開催事業 1,500 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・内容 どのような環境の方も楽しめるインクルーシブなピアノコンサート ・出演者 小川典子氏(第 10 回~第 12 回浜松国際ピアノコンクール審査委員長) 5 (拡充) 出張ランチタイムコンサート開催事業 1,000 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・内容 小学校や企業の昼休み等を利用し、自由に鑑賞できるコンサート ・会場 市内小学校、市内企業、公園等 		
	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <div data-bbox="272 1704 603 1736" data-label="Caption"> <p>地域音楽交流会イメージ</p> </div> <div data-bbox="258 1736 799 2022" data-label="Image"> </div> </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <div data-bbox="847 1709 1329 1780" data-label="Caption"> <p>HAMAMATSU JUNIOR CHORUS FESTIVAL イメージ</p> </div> <div data-bbox="833 1780 1396 2022" data-label="Image"> </div> </td> </tr> </table>	<div data-bbox="272 1704 603 1736" data-label="Caption"> <p>地域音楽交流会イメージ</p> </div> <div data-bbox="258 1736 799 2022" data-label="Image"> </div>	<div data-bbox="847 1709 1329 1780" data-label="Caption"> <p>HAMAMATSU JUNIOR CHORUS FESTIVAL イメージ</p> </div> <div data-bbox="833 1780 1396 2022" data-label="Image"> </div>
<div data-bbox="272 1704 603 1736" data-label="Caption"> <p>地域音楽交流会イメージ</p> </div> <div data-bbox="258 1736 799 2022" data-label="Image"> </div>	<div data-bbox="847 1709 1329 1780" data-label="Caption"> <p>HAMAMATSU JUNIOR CHORUS FESTIVAL イメージ</p> </div> <div data-bbox="833 1780 1396 2022" data-label="Image"> </div>		

アクトシティ浜松施設整備事業

市民部創造都市・文化振興課
電話: 457-2417

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	1,506,747	34,906	858,000	326,225	287,616

※財源(その他)文化振興基金繰入金、資産管理基金繰入金

※債務負担行為 事項: アクトシティ浜松Aゾーン大ホール舞台設備改修工事費

期間: 令和11年度まで 限度額: 9,798,818千円

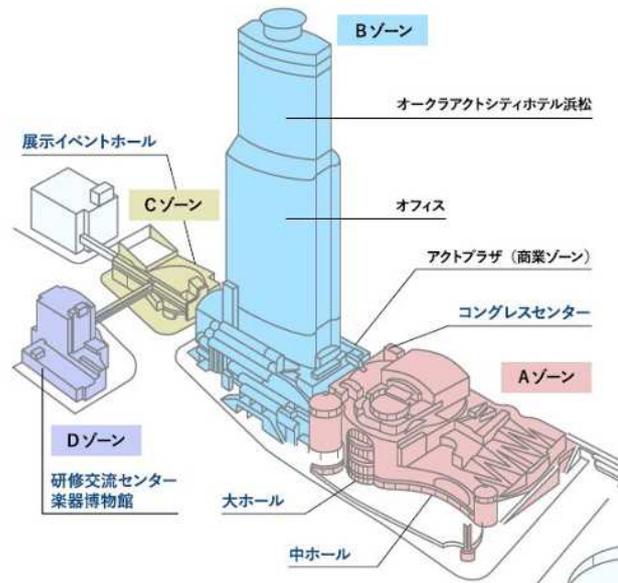
※債務負担行為 事項: アクトシティ浜松Aゾーンガラスアーケード他改修事業費(1期)

期間: 令和8年度まで 限度額: 185,071千円

※債務負担行為 事項: アクトシティ浜松Aゾーン照明設備更新事業費

期間: 令和8年度まで 限度額: 181,699千円 ほか6件

目的	修繕計画に基づき、老朽化した設備等の更新を進め、施設の安全・安心な利用を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成6年の建設から30年が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。 浜松市公共建築物長寿命化指針に基づき、予防保全のための施設改修工事を計画し、令和元年度アクトシティ浜松劣化調査及び修繕計画策定業務、令和2年度に策定したアクトシティ浜松長期修繕計画を基に、効果的な手法で改修を実施する。
事業内容	<p>1 施設修繕事業 1,219,355千円</p> <p>(1) Aゾーン大ホール舞台設備改修工事費 0千円(R7~R9:0千円、R10:6,573,281千円、R11:3,225,537千円) 吊物機構、床機構、音響映像設備及び舞台照明設備の改修</p> <p>(2) Dゾーン改修工事費 555,145千円 主に外壁補修、空調換気設備、衛生設備、消火設備の改修、照明設備LED化</p> <p>(3) Aゾーン改修工事設計費 493,680千円 特定天井改修、空調換気設備、衛生設備の改修、エレベーター設置等によるユニバーサルデザイン化、照明設備LED化のための実施設計</p> <p>(4) その他 170,530千円 Aゾーンガラスアーケード改修 Dゾーン昇降機設備改修 ほか</p> <p>2 その他 287,392千円 非常用発電設備等 官民共有設備更新 ほか</p>



(新規) 東京 2025 デフリンピック大会ブラジル選手団事前合宿受入事業

市民部スポーツ振興課
電話: 457-2421

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	39,828	19,914	0	0	19,914

※大型スポーツイベント等誘致事業の一部

目的	共生社会の実現を目指し、東京 2025 デフリンピック大会に出場するブラジル選手団の事前合宿の受け入れを行うことで、ブラジルとの更なるスポーツ交流の拡大・深化に繋げる。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 本市は、平成 28 年 6 月にブラジルのホストタウンに登録され、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿では 464 人のブラジル選手を受け入れた。 事前合宿の受け入れ実績が評価され、令和 6 年 7 月 15 日にブラジルろうあスポーツ連盟と「東京 2025 デフリンピック大会の事前合宿に関する協定」を締結した。
事業内容	<p>「東京 2025 デフリンピック大会」へ出場するブラジル選手団の事前合宿受け入れのため、スポーツ施設の会場借り上げや市内の選手輸送などを支援する。</p> <p>1 選手団</p> <p>(1) 合宿競技 サッカー、バレーボール、ハンドボール、陸上競技、バドミントン、テニス、卓球、ビーチバレー、柔道、空手、テコンドー、水泳</p> <p>(2) 会場候補 江之島ビーチコート、浜松アリーナ、浜北体育館、花川運動公園庭球場、舞阪総合体育館、雄踏総合体育館 など</p> <p>(3) 日程 令和 7 年 11 月上旬</p> <p>(4) 参加人数 選手・スタッフ合わせ約 200 人を見込む ※日程及び参加人数は、令和 7 年 2 月決定予定</p> <p>2 市民交流イベント等 静岡県立浜松聴覚特別支援学校、浜松ろうあ協会、日伯交流協会、日系ブラジル人との交流、ブラジル選手団歓迎セレモニーの実施 など</p>
	<p><デフリンピックについて></p> <p>『きこえない選手のオリンピック』と言われるデフリンピックは、国際ろうあ者スポーツ委員会が主催し、4 年毎に開催され、第 25 回の東京大会は日本初開催となる。</p> <p>東京大会は、令和 7 年 11 月 15 日～26 日 (12 日間) で 21 競技、3,000 人の選手が参加する予定。</p> <p>(前回大会) 第 24 回ブラジル大会</p> <p>参加国 : 73 か国 競技数 : 21 競技 参加選手 : 2,412 人</p> <div data-bbox="909 1541 1412 1908" data-label="Image"> </div> <p>大会情報サイトより参照</p>

(新規) サーフィン国際大会誘致事業

市民部スポーツ振興課
電話: 457-2421

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	1,000	0	0	0	1,000

※ビーチ・マリンスポーツ推進事業 普及促進事業の一部

目的	オリンピック日本代表の選考大会へと繋がる WSL (World Surf League) 公認の国際大会開催を誘致することで、ビーチ・マリンスポーツの聖地としてのブランド価値創出と交流人口の拡大を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> サーフィンは、東京 2020 オリンピックで新たな競技として追加され、ロサンゼルス 2028 オリンピックを見据え、注目を浴びるマリンスポーツである。 ビーチ・マリンスポーツ事業化計画（平成 30 年度策定）で、海岸利用ゾーンと示した遠州灘エリアは、波の高さと程よい水温など好条件な環境を有しており、多くのサーフィン愛好家から高く評価されている。
事業内容	<p>サーフィン国際大会（QS/クオリファイティングシリーズ）開催に対して負担金を支出する。</p> <p>1 大会概要（予定）</p> <p>(1) 大会名 WSL 公認 Knott's berry Hamamatsu Open</p> <p>(2) 開催期間 令和 7 年 5 月 21 日（水）～25 日（日）（5 日間）</p> <p>(3) 参加選手 国内外から約 300 名（国内、海外プロ選手等）</p> <p>(4) カテゴリー ロングボード男子・女子、ショートボード男子・女子、U12 男子・女子</p> <p>(5) 主催 浜松オープン実行委員会</p> <p>2 連携イベント</p> <p>サーフィン国際大会の関連イベントとして隣接する凧揚げ会場において、様々なスポーツ等体験イベントの同時開催を予定</p>

<過去サーフィン国際大会の様子>



江之島ビーチコート整備・運営事業

市民部スポーツ振興課
電話:457-2421

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費及び 債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	58,969	0	0	0	58,969

※普及促進事業の一部、管理運営事業の一部の合計

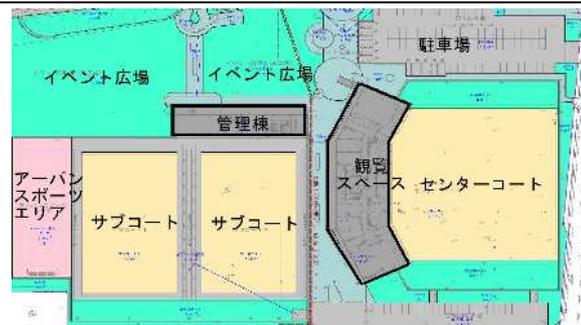
※債務負担行為 事項：江之島ビーチコート整備・運営事業に係るモニタリング等支援業務委託費
期間：令和9年度まで 限度額：34,198千円

※債務負担行為 事項：江之島ビーチコート整備事業費及び施設維持管理運営費
期間：令和24年度まで 限度額：江之島ビーチコートの整備及び施設維持管理運営に要する額

目的	ビーチ・マリンスポーツ事業化計画に基づき、遠州灘海浜公園江之島地区にビーチスポーツの拠点を整備し、本市独自のビーチスポーツブランド価値を創出する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・遠州灘海浜公園江之島地区は、事業化計画に基づく「大会誘致ゾーン」として、国際大会が開催可能なビーチコートの整備を目指し、令和3年度に基本設計を実施した。 ・令和6年5月に入札公告を行ったが、物価高騰等による影響のため参加表明者がなく入札不調となったことから、事業規模を見直したうえで再度公告を行う。
事業内容	<p>1 江之島ビーチコート整備及び維持管理運営事業 既存施設の解体、コートの設計・整備、運営・維持管理をDBO方式により実施</p> <p>(1) 事業期間 令和8年3月1日から令和25年1月31日まで(16年11か月)</p> <p>(2) 事業対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統括管理業務(全体マネジメント、市内スポーツ関連団体等との調整等) ・施設整備業務(設計、施工、既存施設の解体・撤去等) ・開業準備業務(運営準備、予約管理) ・運営維持管理業務(利用受付、情報発信、保守管理、衛生管理、修繕・警備等) <p>(3) 事業スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年 2月、3月 実施方針等の公表特定事業の選定・公表、入札公告 ・令和7年 12月 落札者の決定・公表 ・令和8年 2月 事業契約 ・令和8年 2月以降 施設建設、令和9年度 オープン <p>2 その他関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備・運営に関わるアドバイザリー業務 14,476千円 事業者選定、契約支援 ・運営監視支援業務 0千円(債務34,198千円) モニタリング評価の支援業務 ・遠州灘海浜公園(江之島地区)土地境界確定業務 10,295千円

<整備規模の検討状況>

- ・当初の開設時期を目指す
(令和9年度オープン)
- ・国際大会開催可能なコンセプトは継続
- ・コートは予定数を整備
- ・メインスタンドは整備しない
- ・管理棟、諸室等の規模を再検討 など



(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費及び 債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	18,766	0	0	0	18,766

※スポーツ施設整備事業の一部

※債務負担行為

事項：浜松アリーナリニューアル整備事業費及び施設維持管理運営費 期間：令和25年度まで
限度額：民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）に基づく特定事業の実施に要する経費

目的	浜松アリーナリニューアル構想に基づく民間活力手法によるリニューアル工事を進め、スポーツ環境の向上及び社会ニーズの変化に対応した浜松アリーナの機能向上を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に劣化調査を実施し、令和2年度から令和11年度にかけて改修費の平準化を図る「浜松アリーナ短期・中期修繕計画」を策定した。 改修と合わせ新たなアリーナのあり方を検討するとともに、PFI事業による改修と運営を目指すこととした。
事業内容	<p>1 浜松アリーナリニューアル整備事業費及び運営維持管理費 R0方式により、既存施設の改修設計、整備、運営・維持管理までを一括して実施</p> <p>(1) 事業期間 令和7年度から令和25年度まで(18年)</p> <p>(2) 対象範囲 統括業務(全体マネジメント) 施設改修業務(設計・施工等) 開業準備業務(運営準備、予約管理) 運営維持管理業務(利用者受付、保守管理、衛生管理、修繕・警備等)</p> <p>(3) スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年 2月 実施方針公表、特定事業の選定・公表 令和7年 4月 入札公告 令和7年 12月 落札者の決定・公表 令和8年 2月 事業契約 令和8年～10年 施設改修設計・施工、令和10年度リニューアルオープン予定 <p>2 リニューアル整備事業アドバイザー業務 18,766千円</p> <p>(1) VFM(財政的効果)の算定と事業手法の検討</p> <p>(2) 実施方針・要求水準書等の検討、事業者選定から契約締結までの支援</p>

<完成イメージ>



新武道館整備事業

市民部スポーツ振興課
電話: 457-2421

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	8,140	0	0	0	8,140

※スポーツ施設整備事業の一部

目的	浜松市武道館は施設の老朽化に加え、駐車場が狭いことによる大会開催時の道路渋滞や騒音への対応が課題であるため、移転新築を前提として新武道館の整備に向けた調査を行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の市武道館は築46年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。 ・令和5年度に策定した新武道館整備計画において、施設規模及び建設候補地を整理したことから、令和7年度は最終検討に必要となる調査を行う。
事業内容	<p>令和5年度に策定した新武道館整備基本計画に基づき、施設規模及び建設地の選定に向けた準備業務を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新武道館整備に伴う実施計画策定業務委託費 8,140千円 新武道館整備にかかる需要予測に基づく施設規模の決定及び建設地の選定支援 2 整備案（新武道館整備基本計画（令和5年度策定）） <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設規模 <ul style="list-style-type: none"> ・ A案 メインアリーナ 56m×35m + サブアリーナ 35m×35m ・ B案 メインアリーナ 56m×42m + サブアリーナ 35m×35m (2) 建設候補地 既存スポーツ施設の同敷地または隣接地等で、必要面積の確保が可能と想定される市有地を建設候補地として整理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雄踏総合公園（雄踏町） ・ 可美総合公園（増楽町） ・ 古橋廣之進記念浜松市総合水泳場の北側（篠原町）

<施エイメージ>



四ツ池公園運動施設改修事業

市民部スポーツ振興課
電話: 457-2421

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	518,090	0	288,300	0	229,790

※スポーツ施設整備事業の一部

目的	利用者に対する安全対策や消耗・老朽化した設備等の改修により、施設の機能維持を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松球場の電光掲示板は供用開始から 22 年が経過し、老朽化に伴い大会開催時等に電光掲示板が点灯しない不具合がたびたび発生しており、令和 2 年度から 3 年度にかけては、浜松球場からの場外飛球による物損事故が発生している。 ・ 陸上競技場は、令和 8 年 4 月に第 2 種競技場としての有効期限 (5 年) を迎える。
事業内容	<p>プロ野球や陸上大会の開催に対応可能な機能を維持するため、既存設備を改修する。</p> <p>1 防球ネットの設置 206,000 千円</p> <p>(1) 施工箇所 駐車場、園路及び陸上競技場芝生スタンド法面への防球ネット設置</p> <p>(2) 工事期間 令和 7 年 9 月から令和 8 年 1 月まで (予定)</p> <p>(3) 施設休止 工事期間中は、浜松球場レフト側駐車場が使用できない</p> <p>2 スコアボード改修 178,499 千円</p> <p>(1) 施工箇所 電光掲示を 8 色表示ボード (簡易メッセージ表示可能) へ更新 操作 PC 及びスピードガン更新、ピッチクロック操作盤新設</p> <p>(2) 工事期間 令和 7 年 12 月から令和 8 年 2 月まで (予定)</p> <p>(3) 施設休止 工事期間中は、スコアボードの利用を休止</p> <p>3 陸上競技場第 2 種公認更新工事 133,591 千円</p> <p>(1) 施工箇所 消耗したトラック及びフィールドの補修、備品の補充・更新</p> <p>(2) 工事期間 令和 7 年 10 月から令和 8 年 3 月まで (予定)</p> <p>(3) 施設休止 工事期間中は、陸上競技場の利用を休止</p>

[出典]愛鷹球場



浜松球場整備イメージ



陸上競技場整備イメージ

浜北文化センター大規模改修事業

市民部創造都市・文化振興課
電話: 457-2413

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	1,782,530	0	1,248,700	416,329	117,501

※生涯学習施設整備事業の一部

※財源(その他)文化振興基金繰入金

目的	浜北文化センターの大規模改修工事により、市域全体からの集客に対応し、興行の誘致など市民への鑑賞機会の増加を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・浜北文化センターは昭和56年の開館から40年以上が経過し、外壁などの建築部分や施設内の各設備の老朽化が進んでいる。 ・市内ホール施設利用の需要を踏まえ、令和6年度から大規模改修を行っている。
事業内容	<p>浜北文化センター大規模改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事…屋根改修、外壁補修、内装改修、建具改修等 ・電気工事…受変電設備改修、電灯設備改修、大・小ホール音響更新等 ・機械工事…空調換気設備改修、給排水衛生設備改修、消火設備改修等 <p>1 事業費 1,781,430 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事費 1,662,433 千円 (建築工事、電気工事、吊天井工事) ・委託料 58,252 千円 (工事監理費、設計、引越、処分費等) ・その他 60,745 千円 (初度調弁費、仮設倉庫等賃借料、工事負担金等) <p>2 イベント開催経費 1,100 千円</p> <p>令和7年7月リニューアルオープン時に式典及びオープニングイベントを開催</p>

浜北文化センター外観



大ホール客席



中村家住宅土蔵改修事業

市民部文化財課
電話: 457-2466

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	27,211	0	20,100	0	7,111

目的	老朽化している中村家住宅の土蔵屋根瓦の葺き替え及び外壁の修繕を行い、良好な状態で中村家住宅を公開活用する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中村家住宅は昭和 48 年に国指定重要文化財に指定された寄棟造茅葺平屋建の建物で、土蔵建物は歴史的環境を構成する建築物の一つである。 ・ 土蔵建物の屋根瓦及び外壁は老朽化が進行しており、屋根瓦の隙間から樹木の生育も見られる。
事業内容	<p>特徴的な漆喰づくりの構造を持つ鬼瓦の修繕を中心として、歴史的建造物の価値を損なわないように配慮して、土蔵建物の屋根瓦の葺き替え及び外壁の修繕を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 工事内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋根瓦葺き替え、漆喰復元工事 ・ 外壁漆喰部ひび割れ、浮き部補修、外壁鉄部塗装工事 ・ 土蔵屋根上空及び周辺支障枝伐採 2 実施時期 <p>令和 7 年 6 月～令和 8 年 1 月 ※主屋の施設公開は通常通り実施</p>

土蔵建物の外観



土蔵屋根瓦の様子



二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用事業

市民部文化財課
電話: 457-2466

(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	31,713	9,827	0	0	21,886

※ (文化財費) 会計年度任用職員の一部、史跡等整備活用事業の一部の合計

目的	国指定史跡「二俣城跡及び鳥羽山城跡」(天竜区二俣町二俣ほか)の植生管理、整備工事等の実施により、史跡の保存と活用を図る。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年2月に国史跡指定、令和元年度に史跡二俣城跡及び鳥羽山城跡保存活用計画は国の認定を受けた。令和3年度に史跡二俣城跡及び鳥羽山城跡整備基本計画を策定し、浜松市歴史的風致維持向上計画と整合を取りながら進めている。 浜松市文化財保存活用地域計画において、関連文化財群「戦国大名たちの攻防」の主な構成文化財となっている。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 地形詳細測量 3,971千円 (国1/2) 堀、土塁、石垣等の整備工事のための実施設計に必要な地形測量を行う。 ・対象 鳥羽山城跡本丸 植生整備事業 15,684千円 (国1/2) 植生整備基本計画に基づく、計画的な樹木整備の実施 ・対象 二俣城跡本丸東側土塁及び中仕切門付近の樹木、本丸東側斜面の竹林、鳥羽山城本丸南側斜面の竹林 石垣安定度等詳細調査 9,504千円 令和4年度詳細調査もしくは経過観察が必要と判断された石垣の追加調査及び詳細な状況把握と適切な保存活用策を検討する その他 2,554千円 全体計画期間 令和26年度まで 整備事業の実施により史跡の本質的な価値である遺構(石垣、土塁等)の顕在化を行い、城跡の特徴を示す。



二俣城跡 天守台と本丸



二俣城跡 二の丸



二俣城跡 大手門石垣

西図書館移転事業

市民部中央図書館
電話:456-0234

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	87,334	0	7,000	10,542	69,792

※図書館管理運営事業の一部、図書館サービスシステム維持管理事業の一部、資料収集事業の一部、施設整備事業の一部、図書館デジタル運営経費の一部の合計

※財源(その他)国際児童年記念児童文庫基金繰入金

目的	西図書館を一条スマートタウン内に移転し、子ども連れや児童が利用するゾーンと静かに読書を楽しむゾーンを区分することで、多様なニーズに対応した環境づくりを行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> 西図書館は建築後45年が経過しており、「浜松市立図書館施設整備・保全計画」において、大規模改修を最優先で実施する施設に位置づけている。 令和7年2月から移転先テナントを賃借し、新西図書館オープンに向けて準備を進めている。
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>(1) 図書館資料移設業務 10,428千円</p> <p>(2) 座席予約システム構築業務 913千円</p> <p>(3) 座席予約システム機器リース料 347千円</p> <p>(4) テナント賃借料 30,000千円 (@2,500千円×12か月)</p> <p>(5) 児童図書購入 10,542千円 児童利用の増加が見込まれるため、児童書コーナーを拡充 購入数:約5,545冊</p> <p>(6) その他(需用費、旧西図書館第二駐車場原状回復費など) 35,104千円</p> <p>2 新西図書館の概要</p> <p>(1) 開館時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金曜日以外・休日 午前9時～午後6時 ・金曜日(休日を除く) 午前9時～午後7時 <p>※月曜日、年末年始、館内整理日休館 令和7年7月1日 新西図書館オープン</p> <p>(2) 施設詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童コーナー拡充、ベビーカー置き場・授乳室の設置、バリアフリースイールの拡充、座席予約システム、Wi-Fi、飲食コーナーの新設 ・駐車場55台(思いやり駐車場1台、障がい者用1台を含む) ※商業施設と併用
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>児童コーナー(イメージ)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天竜材を使用した書架(イメージ)</p> </div> </div>

南陽図書館大規模改修事業

市民部中央図書館
電話:456-0234

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費及び 債務負担 行為限度額	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費 土木費	文化・スポーツ	705,685	0	488,300	0	217,385

※関連課 財務部公共建築課 (電話:457-2461)

※図書館管理運営事業の一部、施設整備事業の一部、公共建築物長寿命化推進事業の一部、公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業の一部の合計

※債務負担行為

事項:南陽図書館大規模改修事業費 期間:令和9年度まで 限度額:127,291千円

事項:南陽協働センター外1施設大規模改修事業費 期間:令和9年度まで
限度額:1,607,690千円

事項:南陽協働センター外1施設ユニバーサルデザイン化整備事業費 期間:令和9年度まで
限度額:98,646千円

目的	築40年を経過した南陽図書館の大規模改修工事を実施し、安全で快適な公共空間を市民に提供する。																														
背景	南陽図書館は「浜松市立図書館施設整備・保全計画」において、大規模改修を最優先で実施する施設として位置づけている。																														
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>(1) 長寿命化工事・改良保全工事 621,278千円 外壁・屋根改修、レイアウト変更、ZEB化、書架新設 等</p> <p>(2) ユニバーサルデザイン工事 71,875千円 エレベーター、授乳室等の設置</p> <p>(3) 図書館資料移設業務費 6,650千円</p> <p>(4) 図書館システム移設費 1,298千円</p> <p>(5) その他(機械警備、保管用倉庫賃貸借など) 4,584千円</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業者公募・選定</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>南陽図書館開館</td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>貸倉庫への資料・図書館システム等移設</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	事業者公募・選定		→				工事			→	→		南陽図書館開館	→	→			→	貸倉庫への資料・図書館システム等移設		→		→	
項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度																										
事業者公募・選定		→																													
工事			→	→																											
南陽図書館開館	→	→			→																										
貸倉庫への資料・図書館システム等移設		→		→																											
	<p>〈施設概要〉</p> <p>所在地:中央区下江町</p> <p>建物:鉄筋コンクリート造 延床面積1,109.76㎡</p> <p>建築年:昭和59年4月</p> <p>年間入館者数:60,299人(令和5年度)</p> <p>図書貸出冊数:112,325冊(令和5年度)</p> <p>蔵書数(図書のみ):51,807冊(令和5年度)</p>																														
																															

史跡蜷塚遺跡再整備事業

市民部博物館
電話:456-2208

(単位：千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	64,402	27,708	0	0	36,694

目的	国指定史跡である蜷塚遺跡を、未来に向けて確実に継承するとともに、多くの人が遺跡の価値や魅力を体感できるように再整備を進める。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蜷塚遺跡は、当初の整備から 60 年以上経過し、老朽化の対策や展示の内容・手法の更新が課題となっている。 ・ 令和 3 年度に基本方針となる保存活用計画、令和 4 年度に整備基本計画を策定し、令和 5・6 年度の 2 か年で基本設計を実施した。
事業内容	<p>1 整備実施設計 39,666 千円 (国 1/2) 史跡整備実施設計、整備予定地の詳細測量</p> <p>2 整備工事に向けた準備 23,954 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡状況把握のための発掘調査、令和 6 年度調査の整理・報告書作成 ・ 整備に支障となる植栽伐採、工作物撤去移設工事 (国 1/2) ・ 別館・第 4 収蔵庫解体準備 (資料移設、不用品処分、史跡養生) <p>3 整備にかかる調整 782 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有識者等による整備検討会や地元向け説明会の開催。国・県等との調整 ・ 今後の再整備や発掘調査の基礎情報とするための再整理、有識者指導 <p>4 今後のスケジュール</p> <p>令和 7 年度 実施設計 令和 8 年度 整備工事 令和 9～13 年度 発掘調査</p> <div style="text-align: center;">  <p>再整備後蜷塚遺跡 イメージ図</p> </div>

銅鐸調査研究事業

市民部博物館
電話:456-2208

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	9,880	4,940	0	0	4,940

※資料調査収集事業の一部

目的	本市が所有する弥生時代後期(1~2世紀)の銅鐸7個の詳細を調査研究し、今後適切に保存活用するための基礎資料を作成する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・現存する市内出土銅鐸は16個で、浜松市で7個、市外で9個所蔵しているが、劣化が進んでいる個体があり、適切な保存活用策が求められている。 ・市内出土銅鐸群は、今後予定する博物館リニューアルの中心的展示物として検討している重要な資料群である。
事業内容	<p>デジタル技術を用いて調査研究・保存活用の基礎となる三次元データ及び実測図を作成するとともに、市民への公開活用を図る。</p> <p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次元データ取得と画像作成 9,880千円 市所蔵銅鐸7個について、多方向から取得した高精細デジタルデータの調整・解析を通じて三次元データを取得し、それをもとに三次元画像を編集する。また、三次元画像から実測図(二次元展開図)を作図する。 ・体験学習事業の開催 作成した三次元画像をインターネット上または端末上で公開する。また、成果物を活用した銅鐸に関する体験学習事業(ワークショップ等)を開催する。 <p>2 スケジュール(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 市所蔵銅鐸7個の三次元データの取得と実測図の作成 三次元画像の公開活用(展示・講座など) ・令和8年度 市外に所在する銅鐸の調査(現地での三次元データ取得など) ・令和9年度 市内出土銅鐸に関する総括報告書を作成

本市所蔵 銅鐸



猪久保 七曲り1号 七曲り2号 不動平 穴ノ谷 前原 滝峯才四郎谷

美術館及び秋野不矩美術館展覧会

市民部美術館
電話:454-6801

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	文化・スポーツ	141,212	0	0	69,894	71,318

※美術館展覧会開催事業の一部、秋野不矩美術館管理運営事業の一部の合計

目的	展覧会の開催を通して、市民の芸術文化の振興を図る。			
背景	国内外の優れた作品や地域ゆかりの作品、多くの館蔵コレクションを紹介する展覧会のほか、市民が参加・交流する公募展を開催している。			
事業内容	1 浜松市美術館 令和7年度開催予定展覧会 (単位:千円)			
	No.	展覧会名	事業費	
	1	躍動するアジア陶磁展 (特別展)	15,189	国内最大級の東南アジア、中国陶磁コレクション展覧会 令和7年4月12日～6月22日(24,000人見込)
	2	大ガラス絵展 (企画展)	47,331	日本初のガラス絵の総合的な展覧会 令和7年7月19日～11月3日(45,000人見込)
	3	館蔵品展 (平常展)	1,027	館蔵品の中から浜松ゆかりの作品等を紹介する展覧会
	4	第73回市展 (平常展)	4,375	広く市民から作品を募集し開催する展覧会 令和8年2月22日～3月4日(5,000人見込) ※クリエート浜松にて開催
	合計		67,922	
	2 浜松市秋野不矩美術館 令和7年度開催予定展覧会 (指定管理料:73,290千円)			
	展覧会名		開催期間	
	特別展			
	1	「小松 均展 自然をまなざす」(仮)		令和7年6月14日～7月27日
	2	「風景へのまなざし 秋野不矩と20世紀日本画の巨匠たち」(仮)		令和7年9月13日～11月9日
3	「京都の日本画 一京都画壇の俊英たち」(仮)		令和8年1月24日～3月8日	
所蔵品展				
創造のまなこ(眼)Ⅰ～心施～		令和7年4月1日～4月20日		
創造のまなこ(眼)Ⅱ～眼施～		令和7年4月26日～5月25日		
創造のまなこ(眼)Ⅲ～慧眼～		令和7年8月5日～8月31日		
創造のまなこ(眼)Ⅳ～天眼～		令和7年11月22日～		
創造のまなこ(眼)Ⅴ～慈眼～		令和8年1月12日		
		令和8年3月17日～3月31日		

定額減税調整給付重点支援給付金支給事業

財務部市民税課

電話:457-2144

(単位:千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	地方自治	4,115,749	4,053,394	0	0	62,355

目的	物価高により厳しい状況にある市民の負担を緩和するため、令和6年分所得税の推計の確定等に伴い、当初調整給付に不足を生じた人等に不足額給付を行う。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・デフレ完全脱却のための総合経済対策（令和5年11月2日閣議決定）により、新たな経済に向けた給付金、定額減税一体措置が示された。 ・令和6年6月上旬、個人住民税において定額減税を実施し、令和6年7月、定額減税しきれないと見込まれる人に当初調整給付を実施した。 <p>※令和6年分所得税は令和5年所得からの推計値</p>
事業内容	<p>1 支給対象者</p> <p>(1) 令和6年分所得税及び定額減税の実績額等の確定により不足が生じた人</p> <p>ア 令和6年所得が減少し、所得税分の減税しきれない額が増加した人</p> <p>イ 令和6年中の扶養親族等の追加等により、所得税分の減税しきれない額が増加した人</p> <p>ウ 当初調整給付後、住民税の税額更正により、減税しきれない額が増加した人</p> <p>(2) 個別書類の提示により、給付要件を確認して下記全ての要件を満たす人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年分所得税及び令和6年度分住民税所得割額の定額減税前税額が0円 ・低所得世帯給付金対象世帯の人ではない ・税制度上、「扶養親族」から外れてしまう <ul style="list-style-type: none"> ア 青色事業専従者、白色事業専従者 イ 合計所得金額48万円超 <p>2 対象見込人数 100,000人 (R6当初調整給付実績:133,830人)</p> <p>3 給付開始時期 令和7年8月中旬～</p>

<給付スケジュール>

令和7年度

7月	8月	9月	10月	11月
上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬	上旬 中旬 下旬
案内発送 (7月中旬～)				
申請受付 (7月中旬～)			→	
	給付 (8月中旬～) →			

南消防署・浜松第41分団・可美市民サービスセンター
複合施設建設事業

消防局消防総務課
電話:475-7523

(単位:千円)

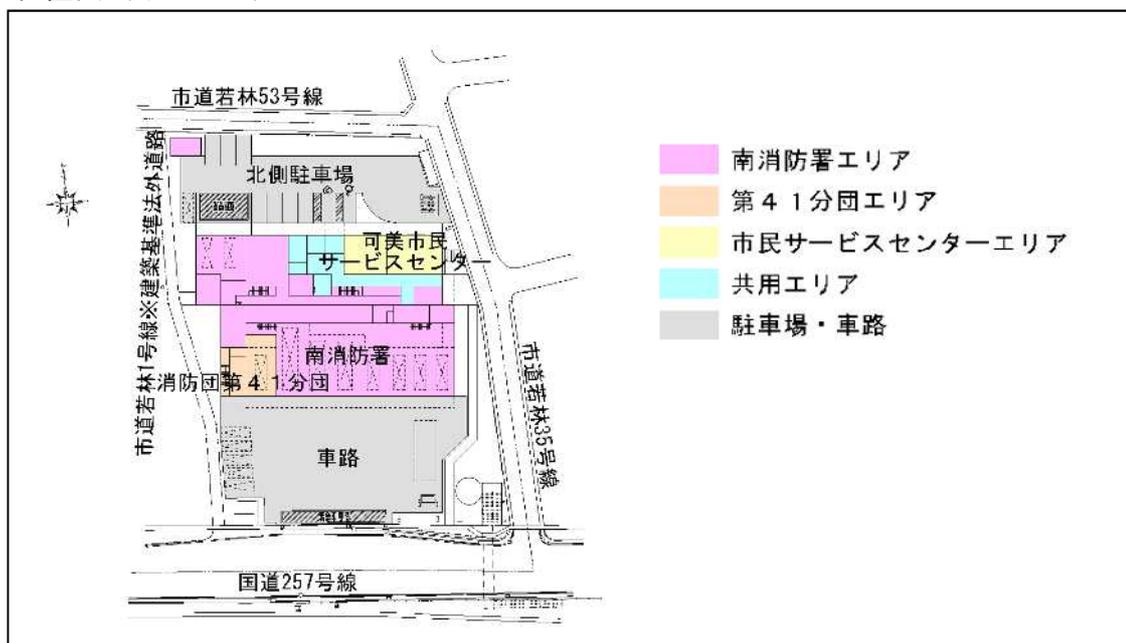
予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費 消防費	安全・安心・ 快適	76,389	0	68,200	0	8,189

※関連課:市民部市民生活課(電話:457-2130)

※南消防署・浜松第41分団等複合施設建設事業、サービスセンター施設整備事業の合計

目的	老朽化する可美市民サービスセンターの施設整備に合わせ、敷地内の南支団浜松第41分団庁舎と近隣施設で老朽化する南消防署を複合した施設を整備する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・可美市民サービスセンターは築73年、南消防署は築53年、南支団浜松第41分団は築56年が経過し、老朽化が進んでいる。 ・同サービスセンターは、中央区南地域の中で最も窓口件数が多く、市民の需要が高い。
事業内容	<p>1 庁舎概要(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 約16億円 ・建設地 中央区若林町925-1(可美市民サービスセンター敷地) ・建築規模 鉄骨造3階建 延床面積 2,122.90㎡(現:2,603.31㎡) 敷地面積 3,064.25㎡(現:1,769.15㎡) <p>2 スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 基本設計、地質調査、実施設計 令和7年度 実施設計 令和8年度 既存第41分団庁舎改修、既存可美SC庁舎解体 令和9年度 建設工事、耐震性貯水槽設計 令和10年度 建設工事、既存第41分団庁舎解体、耐震性貯水槽工事、供用開始

位置図(イメージ)



(単位: 千円)

予算款	基本計画 分野別計画	事業費	財源内訳			
			国・県	市債	その他	一般財源
総務費	環境・くらし	159,451	108,004	0	0	51,447

※サービスセンター事業の一部、(市民窓口費)人件費 会計年度任用職員の一部、戸籍・住民基本台帳・印鑑登録等実施の一部、市民窓口デジタル運営経費の一部の合計

目的	戸籍法改正に基づく戸籍への振り仮名追加にあたり、必要な作業を実施し、法改正に遅滞なく対応する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年 6 月 2 日に戸籍の記載事項に「氏名の振り仮名」を追加する改正戸籍法が成立し、令和 7 年 5 月 26 日に施行する。 ・ 令和 8 年 8 月の記載期日までに戸籍に振り仮名を記載できるよう、本人の確認作業が必要となる。
事業内容	<p>戸籍に記載する予定の振り仮名の通知を本市に本籍を置く人全員に発送し、通知した振り仮名が誤っている場合に届出を受け付ける。届出に基づいた振り仮名について、戸籍に記載する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 通知の作成及び発送 <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期 令和 7 年 7 月～8 月 ・ 対象 浜松市本籍者約 77 万人 ※通知した振り仮名が誤っている場合のみ届出 2 コールセンターの設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間 令和 7 年 8 月～令和 8 年 3 月 ・ 時間 午前 9 時～午後 5 時 3 サービスセンター職員への窓口研修 4 中央区区民生活課内のデータ入力センターの拡充及び入力業務委託

振り仮名通知の流れ

